

東北地方 3か月予報

(12月から2月までの天候見通し)

平成23年11月24日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとあります。

この期間の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。

12月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。

1月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

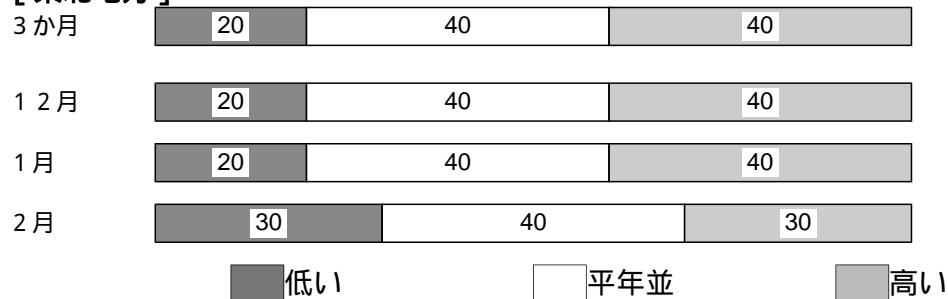
気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。

2月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

<向こう3か月の気温、降水量、降雪量の各階級の確率(%)>

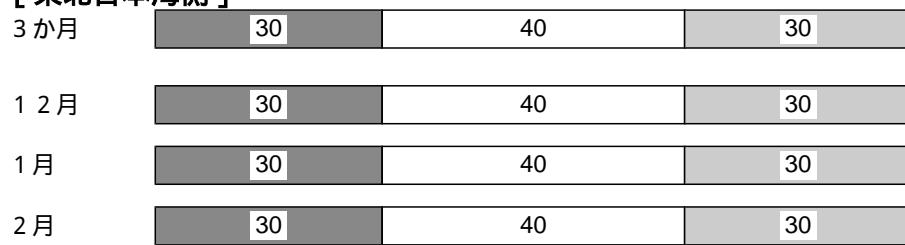
<<気温>>

[東北地方]

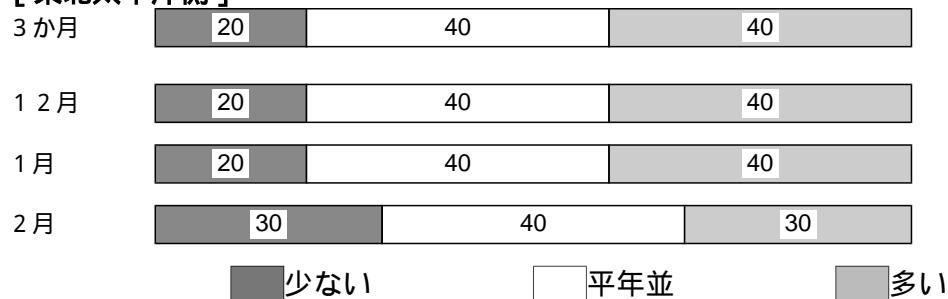


<<降水量>>

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



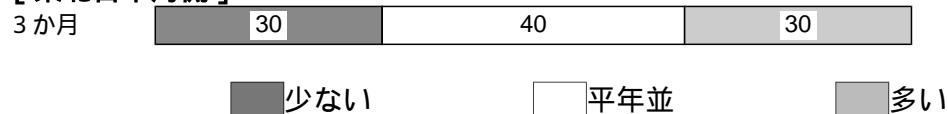
■ 少ない

□ 平年並

■ 多い

<<降雪量>>

[東北日本海側]



■ 少ない

□ 平年並

■ 多い

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は11月25日

3か月予報：12月22日(木) 14時

なお、12月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

また、寒候期予報として発表していたこの冬(12~2月)の予報については、今回の3か月予報等最新の予報をご利用ください。

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 平年値(月・3か月平均気温、降水量、日照時間、降雪量)

	気温()				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	12月	1月	2月	12月～2月	12月	1月	2月	12月～2月	12月	1月	2月	12月～2月
青森	1.5	-1.2	-0.7	-0.2	150.8	144.9	111.0	404.3	52.8	51.3	69.8	174.3
深浦	2.5	-0.2	0.1	0.8	132.9	101.8	78.0	313.0	31.6	26.9	46.5	107.0
むつ	1.3	-1.4	-1.2	-0.4	103.7	103.1	82.9	287.0	71.2	71.6	91.3	234.8
八戸	1.8	-0.9	-0.5	0.1	49.1	42.8	40.1	128.5	124.5	130.8	129.6	385.6
秋田	2.9	0.1	0.5	1.2	160.1	119.2	89.1	368.8	45.1	39.9	62.5	147.6
盛岡	1.0	-1.9	-1.2	-0.7	70.8	53.1	48.7	167.2	101.6	116.9	127.5	346.7
大船渡	3.6	0.8	1.1	1.8	50.4	49.9	45.5	141.0	132.0	142.8	136.9	412.2
宮古	3.1	0.3	0.4	1.3	64.8	60.6	60.1	175.8	147.4	161.0	152.9	462.4
仙台	4.5	1.6	2.0	2.7	36.6	37.0	38.4	108.0	138.6	148.1	151.8	437.7
石巻	3.5	0.7	1.2	1.8	33.6	34.9	35.1	102.3	149.3	165.5	163.1	477.9
山形	2.6	-0.4	0.1	0.7	82.7	83.0	62.7	228.8	80.7	84.8	98.9	263.7
新庄	1.6	-1.1	-0.7	-0.1	223.6	208.2	138.9	568.0	38.8	38.5	57.7	135.0
酒田	4.5	1.7	1.9	2.7	204.0	168.1	114.0	486.7	43.9	39.4	59.2	142.5
福島	4.4	1.6	2.2	2.7	41.8	49.4	44.3	135.3	125.2	132.0	142.3	398.4
若松	2.2	-0.6	-0.1	0.5	93.8	95.3	71.4	260.6	70.7	78.5	98.8	247.5
白河	3.0	0.3	0.8	1.3	36.0	38.9	38.5	111.9	152.0	151.2	152.4	454.7
小名浜	6.4	3.8	4.0	4.7	44.4	52.8	58.0	154.2	183.6	189.8	177.9	551.1

	降雪量(cm)			
	12月	1月	2月	12月～2月
青森	153	225	176	555
深浦	67	110	92	270
むつ	91	168	143	404
八戸	40	77	75	193
秋田	74	138	108	322
盛岡	53	85	74	213
大船渡	11	19	23	53
宮古	16	33	55	105
仙台	9	21	23	56
石巻	6	14	20	41
山形	77	148	125	356
新庄	154	283	217	656
酒田	56	122	98	277
福島	28	74	57	162
若松	83	171	142	401
白河	21	58	47	129
小名浜	-	-	-	-

欠測により平年値を求めるための資料年数(観測値のある年数)が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。小名浜の降雪量の平年値はありません。

(2) 1981～2010年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	12月	1月	2月	12月～2月
気温平年差()	東北地方	-0.1～+0.4	-0.3～+0.7	-0.2～+0.4	-0.2～+0.4
	東北日本海側	-0.2～+0.5	-0.3～+0.6	-0.2～+0.5	-0.2～+0.4
	東北太平洋側	-0.1～+0.4	-0.3～+0.7	-0.2～+0.5	-0.2～+0.3
降水量平年比(%)	東北地方	74～97	74～107	85～110	88～105
	東北日本海側	91～105	88～109	90～110	92～108
	東北太平洋側	60～101	57～116	72～116	85～109
降雪量平年比(%)	東北地方	74～116	90～107	78～112	87～107
	東北日本海側	74～118	94～111	85～119	90～106
	東北太平洋側	69～123	81～99	78～105	86～105

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料（12～2月）

平成23年11月24日 仙台管区気象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

各階級の確率の偏りが小さい場合は記述していない。

12～2月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。 降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。
12月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。 降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。
1月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。 降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。
2月	

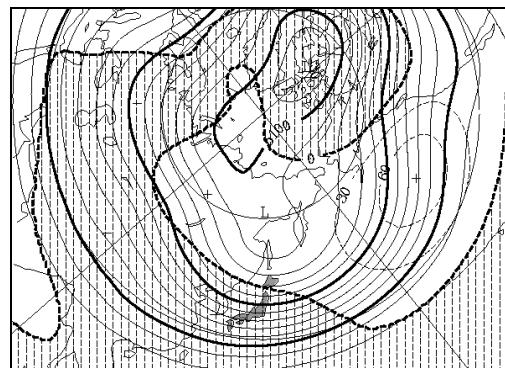
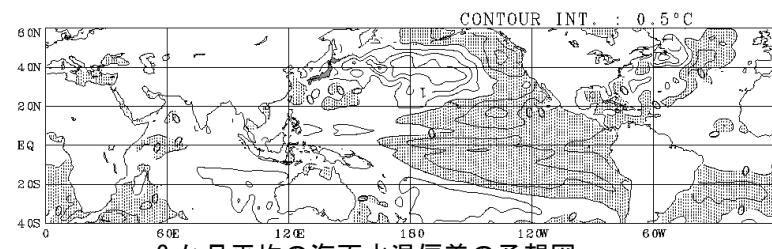
東北地方は暖冬傾向の予報であるが、低気圧の通過後に一時的に冬型の気圧配置が強まり、気温が低く大雪となる可能性もある。東北日本海側の降雪量は平年並の確率40%だが、多い確率も30%と予報した。

2. 数値予報による海洋と大気の流れの予想

海面水温(上図)は、インド洋から西部太平洋の熱帯域では平年より高く、中・東部太平洋熱帯域では平年より低くなる見込み。ラニーニャ現象がすでに発生していると見られ、冬から春までの間に終息する可能性が高いものの、中・東部太平洋熱帯域では今予報期間は平年より低い状態が継続する見込み。

熱帶の対流活動(図略)は、インド洋から西部太平洋にかけて平年より活発の予想で、これに対応して亜熱帶ジェット気流は、ユーラシア大陸で平年より強く、平年より北を流れるが、日本付近では平年より弱く、平年より南を流れる見込み(図略)。

また、対流活動は中・東部太平洋熱帯域で平年より不活発の予想で、これに対応して500hPa高度(中図)は、太平洋北東部が顕著な正偏差となり、アリューシャン低気圧は平年より弱い見込み。北日本を中心冬型の気圧配置が弱く、大陸からの冷たい季節風が平年より弱いため、東北地方の3か月平均気温は高温傾向が予想される。低気圧の影響や寒気の入るタイミングによって一時的に大雪となる可能性があり、東北日本海側の降雪量は予報確率の偏りを小さくした。

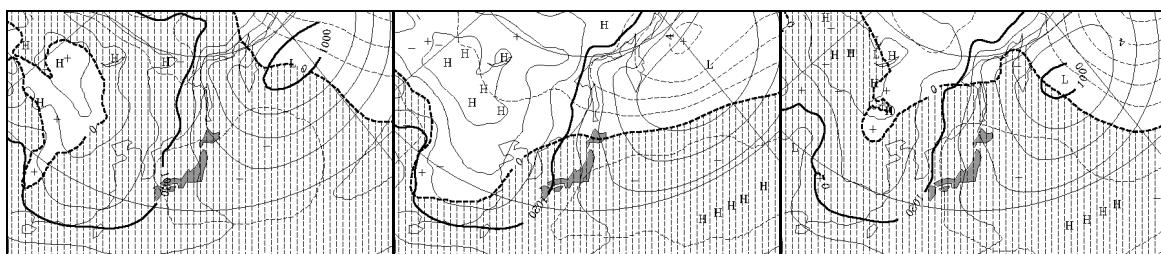


月別の予想(下図)

12月: 日本付近は広く負偏差におおわれる。アリューシャン低気圧が平年より弱く冬型の気圧配置は長続きしない予想で、大陸からの冷たい季節風が平年より弱く高温傾向が見込まれる。低気圧の影響を受けやすく、東北太平洋側では降水量が多い傾向が予想される。

1月: シベリア高気圧は強いが、アリューシャン低気圧は平年より弱い。冬型の気圧配置は平年より弱い予想で、大陸からの冷たい季節風が平年より弱く高温傾向が見込まれる。低気圧の影響を受けやすく、東北太平洋側では降水量が多い傾向が予想される。

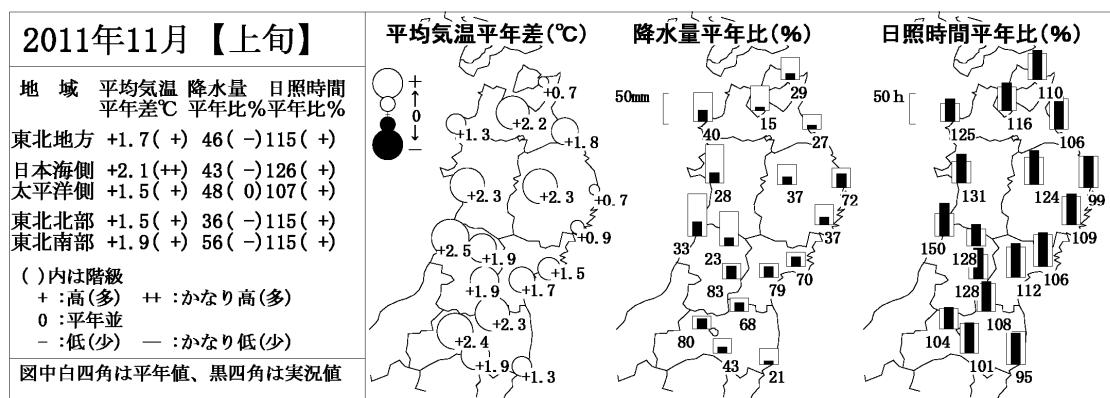
2月: 日本付近は広く負偏差におおわれる。アリューシャン低気圧が日本に近いところで発達し、冬型の気圧配置が強まる。東北地方は平年と同程度に寒気の影響を受けると見込まれる。



3. 最近の天候経過

11月上旬：期間のはじめと終わりは高気圧におおわれて晴れたが、期間の中頃は日本海を北東に進んだ低気圧が東北地方を通過し雨となった。気温は暖気におおわれたため高くなつた。

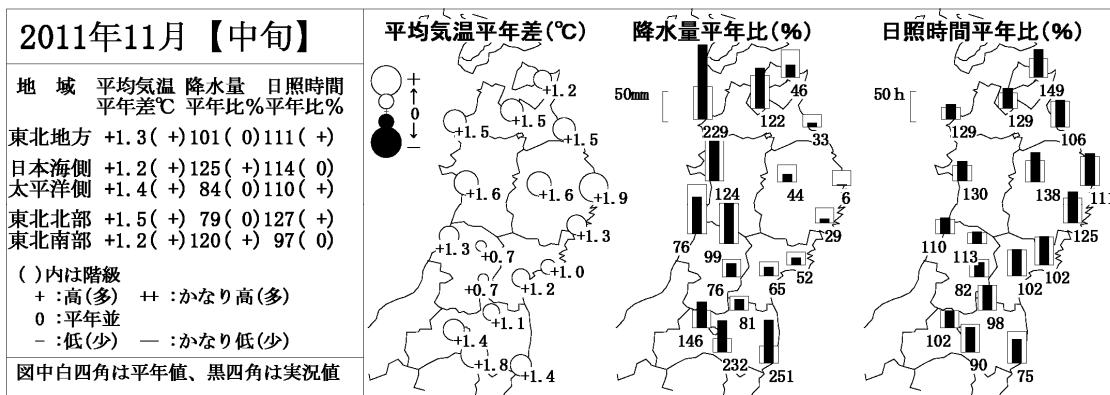
平均気温は東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側で高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北地方で多い。



11月上旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

11月中旬：この期間、高気圧におおわれた日があったが、次々と気圧の谷が通過し、また期間の中頃は冬型の気圧配置となつた。東北日本海側では晴れの日もあったが、曇りや雨または雪の日が多くなつた。東北太平洋側では晴れの日が多くなつたが、曇りや雨または雪の日もあった。13日と15日は気圧の谷が通過し山形県で、19日から20日にかけては日本海と本州の南岸を低気圧が北東に進み、青森県、秋田県、山形県、福島県で大雨となつたところがあつた。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は東北北部で多い、東北南部で平年並。

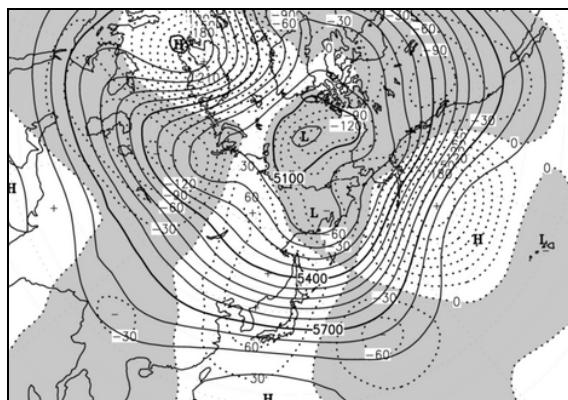


11月中旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

4. 今月の循環場の特徴

11月(20日まで)：500hPa高度は、太平洋北東部とヨーロッパで気圧の尾根が発達し、顕著な正偏差となつた。中緯度帯は偏西風の蛇行が明瞭で、日本付近は中国東北区と朝鮮半島付近に中心を持つ正偏差におおわれた。一方、東シベリア付近と日本のはるか東は負偏差となつた。

東北地方では、上旬から中旬はじめにかけて高気圧におおわれて晴れの日が多く、気温は平年より高い日が多くなつたが、中旬の中頃は強い寒気が南下し、平地でも雪となつた。



11月1日～20日の平均500hPa高度
実線は高度（間隔60m）、点線は偏差（間隔30m）。陰影部は負偏差。

＜参考資料＞

平年の天気出現日数（日）

	青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
12月	5. 6	20. 7	4. 2	21. 4	13. 7	11. 2	18. 6	4. 7	8. 9	14. 1	16. 5	6. 9
1月	4. 7	22. 3	3. 2	21. 2	15. 3	9. 9	19. 7	5. 3	9. 7	15. 1	17. 3	8. 1
2月	5. 9	18. 8	5. 1	16. 8	15. 6	8. 2	19. 0	5. 0	10. 8	12. 4	17. 6	7. 1

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。